

第四十一回 帝國議會 貴族院議事速記録第九號

大正八年二月十日(月曜日)

午前十時六分開議

議事日程 第九號 大正八年二月十日(月曜日)

午前十時開議

第一 今井五介君請暇ノ件

第二 請願委員長報告

第三 第一回國勢調査施行ニ要スル地方經費國庫支辨ニ關スル法律案(政府提出)  
第一讀會

第四 會計検査院法中改正法律案(政府提出)  
第一讀會(續)  
會(委員長報告)

第五 憲法發布三十年記念祝賀上奏案  
會(委員長報告)

第六 大正六年法律第六號軍人恩給法附則改正ノ請願  
會

第七 軍人恩給法中改正ノ請願  
會

第八 日本住血吸蟲病豫防撲滅事業費國庫補助ノ請願  
會

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シセマス

〔長谷川書記官朗讀〕

一昨八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正五年法律第四號中改正法律案

大正七年度歲入歳出總豫算追加案(第二號)

臨時軍事費豫算追加案(第二號)

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

會計検査院法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵小笠原 長 幹君 副委員長 子爵牧野 忠 篤君

憲法發布三十年記念祝賀上奏案起草特別委員會

委員長 侯爵德川 賴 倫君 副委員長 伯爵松 浦 厚君

貴族院議事速記録第九號

大正八年二月十日

報告 委員辭任及補闕選舉ノ件 請暇ノ件 請願委員長報告

一〇九

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

會計検査院法中改正法律案可決報告書

憲法發布三十年記念祝賀上奏案起草報告書

同日第三部ニ於テ豫算委員伯爵與平昌恭君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果高崎親章君當選セリ

同日豫算委員長ヨリ分科擔當委員ヲ左ノ如ク決定セル旨ノ報告書ヲ提出セリ

第二分科擔當

高崎 親 章 君

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、一昨八日今井五介君海外旅行ニ付キ請願委員ヲ辭任イタサレタキ旨申出デラレマシタ、許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ナイト認メマス、付キマシテハ第九部ニ於テ此補闕選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、第一、今井五介君請暇ノ件、今井君海外旅行ニ付キ明後十二日ヨリ會期中ノ請暇デゴザイマス、許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 第二、請願委員長報告

〔伯爵小笠原長幹君演壇ニ登ル〕

○伯爵小笠原長幹君 請願委員會ノ御報告ヲ申上ゲマス、正副委員長ノ選舉、分科ノ決定及分科擔當員ノ選定、各分科主査ノ選舉ハ何レモ一月二十一日ニ行ハレマシタ、而シテ之ニ關スル詳細ナルコトハ、既ニ彙報ヲ以テ御承知ト存ジマシテ、玆ニハ省略イタシマス、委員會ハ二回、分科會ハ六回開キマシタ、文書表ノ報告ガ三回、委員會ノ特別報告ガ一回、請願書ノ受領件數百三十件、二百十九通、同ジク連署人名數ガ八千四百四十二名、審査ノ經過

及結果ヲ申上ゲマス、百十四件、百八十七通ノ中デ院議ニ付スベシト議決  
イタシマシタモノガ五十五件、九十二通、院議ニ付スルヲ要セズト議決イタ  
シマシタモノガ、二件、四通ゴザイマス、審査未了ノモノガ五十七件、九十  
一通、尙ホ請願文書表ニ掲載イタシマセヌ件數ガ十六件、三十二通ゴザイ  
マス、以上ハ去ル二月八日午後四時締切デゴザイマス、右ヲ以テ報告ヲ終リ  
マス

○副議長(侯爵黒田長成君) 第三、第一回國勢調査施行ニ要スル地方經費國  
庫支辨ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ省  
略イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナシト認メマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

第一回國勢調査施行ニ要スル地方經費國庫支辨ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正八年二月六日

衆議院議長 大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

第一回國勢調査施行ニ要スル地方經費國庫支辨ニ關スル法律案

第一回國勢調査施行ノ爲市區町村ニ於テ要スル經費ニ充テシムル爲國庫ハ  
百五十五萬五千四百八十八圓ヲ限リ之ヲ道府縣ニ交付ス  
前項ノ規定ニ依リ交付スル金額ノ割合ハ内閣總理大臣之ヲ定ム

〔政府委員横田千之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(横田千之助君) 唯今議題ニ上リマシタ第一回國勢調査施行ニ要  
スル地方經費國庫支辨ニ關スル法律案ハ明治三十五年法律第四十九號國勢調  
査ニ關スル法律第二條ノ規定ニ依リマシテ、國勢調査ノ經費ハ國庫地方兩方  
ニ於テ分擔スル規定ニナツテ居ッタノデアリマスルガ、特ニ第一回ノ國勢調査  
ニ限リマシテ百五十五萬五千有餘圓國庫ノミニ於テ負擔スルト云フ意味ニ於  
テ本案提案ノ必要ヲ生ジタモノデアリマス、宜シク御審議ノ上御評決ヲ希望  
イタシマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 別ニ御質問モナシト認メマスカラ特別委員ノ氏

名ヲ報告ニ及ビマス

〔成瀬書記官朗讀〕

第一回國勢調査施行ニ要スル地方經費國庫支辨ニ關スル法律案特別委員

伯爵柳澤 保惠君 子爵榎本 武憲君 男爵黒田 長和君

阪本 鈺之助君 菅原 通敬君 岡田 文次君

石橋 謹二君 鎌田 榮吉君 二階堂三郎左衛門君

○副議長(侯爵黒田長成君) 第四、會計検査院法中改正法律案、政府提出、  
衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之ニ倣フ〕  
會計検査院法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年二月八日

右特別委員長

伯爵小笠原長幹

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵小笠原長幹君演壇ニ登ル〕

○伯爵小笠原長幹君 委員會ニ御託シニナリマシタ會計検査院法中改正法律  
案ノ經過ト其結果トヲ報告イタシマス、委員會ハ去ル二月八日ニ開キマシテ  
慎重ナル審議ヲ重ネ、副検査官ノ配置、現行法施行以前ノ定員等ノ比較等ヲ十  
分ニ質問ヲ試ミ、政府ノ意嚮ノ在ル所モ確メテ能ク説明ヲ承リマシタ、本案  
ハ現行法第二條ヲ改正スルコトニ依ツテ、現在ノ副検査官專任十四名ヲ三名殖  
シマシテ、專任十七名ニシヤウト云フ改正法律案デゴザイマス、院長官房第  
一部第二課、第二部第二課ニ各一名ノ專任副検査官ヲ増員シタイ、サウスル  
ト院長官房ニ一名專任副検査官ガ居ルコトニナツテ、主トシテ検査方法ノ調査  
ニ當ラシメ、各部各課ニ各二名ヅ、ノ專任副検査官ヲ置クコトニナツテ、一名  
ハ重モニ出張検査ニ從事シ、他ノ一名ハ主トシテ院内ニ留ツテ院内ノ事務ヲ見ル  
コトガ出來ルヤウニナルノデゴザイマス、之ニ依ツテ繁劇ヲ加ヘタ事務ノ進捗  
ヲ期スルコトガ出來、且ツ是デ検査ノ周到改善ヲ圖ルコトガ出來ルト云フコ  
トデアリマス、尙ホ是ハ問題外デアリマスガ、之ト同時ニ屬官二十名ヲ増員  
スル考デアルト云フコトデアリマス、右様ノ次第デアリマスカラ、委員會デ

ハ何等ノ議論ナク全會一致原案ヲ可決イタシマシタ、本案ハ明瞭且ツ簡單ナル案デゴザイマスカラ、ドウゾ讀會ヲ省略セラレマシテ、原案通り可決アラムコトヲ希望イタシマス

〔阪本鈺之助君發言ノ許可ヲ求ム〕

○子爵牧野忠篤君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○阪本鈺之助君 御質疑イタシタウゴザイマス、三名ノ副検査官ヲ増員スルト云フ法案ノヤウデアリマスガ、唯今御報告中ニ御言葉ガアリマシタガ、最初會計検査院法ヲ設ケラレタ當時ノ定員カラ、其以後何回増加イタサレマシタノデアリマスカ、若シ既ニソレガアッタトスレバ最初定メラレタ定員カラ、ドレ程増加ニナツテ、今度尙ホ三名ノ増加ヲスルト云フコトニナツタカト云フコトヲ御調べニナツテ居リマスナラバ拜聴イタシタイノデアリマス

○伯爵小笠原長幹君 委員會デハソレハ問題ニナリマセヌデ、唯此前ノ改正以前ニハ十六名デアッタノガ、行政整理デ十四名ニ減ッタコトダケシカ承リマセスデゴザイマス

○阪本鈺之助君 然ラバ政府委員ヨリ御答ヲ願ヒマス

〔政府委員馬場鑣一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鑣一君) 御答ヲ申上ゲマスガ會計検査院ノ副検査官ノ定員ハ數回増減イタシテ居リマス、最モ多ク置キマシタトキハ日清戰爭ノ後デアリマシテ、三十四名程置イテアッタコトガアルノデアリマス、其後數回行政整理ノ結果ト致シテ減ツテ參リマシテ、最近ノ行政整理ニ依リマシテ十四名ニ減ジテ居ルノデアリマス、ソレニ今回三名増員ヲ致スノデアリマス

○阪本鈺之助君 モウ一應伺ヒマスガ、日清戰爭以前三十名以上アリマシタモノガ、十四名ニ減ッタ、然ルニ即チ政府ノ歲計狀況ヲ見マスルト、近頃非常ナ膨脹デアリマシテ、ナカノ日清戰爭時分ノ經濟デハナイノデアリマス、而モ他ノ官衙ニ於テハ近頃非常ニ定員ヲ増シツ、アルニモ拘ラズ、此龐大ナル會計検査ヲ僅カ三名ノ増員デ差支ナイト云フ御確信ガアツテ、將來御増員ノ必要ハナイデアリマスカ、其邊ヲ伺ヒタイ

〔政府委員馬場鑣一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鑣一君) 會計検査院ノ定員ガ現在ノ狀況ニナツテ居リマスノハ、主トシテ大正二年ノ行政整理ニ於テ検査院法ノ改正、勿論兩院ヲ通過イ

タシテ現在ノ如クニ減ジテ居ルノデアリマス、歲計ノ膨脹ハ固ヨリ年々御承知ノ如ク殖エテ居リマスガ、今日ノ狀況ニ於テハ此定員ヲ以テ會計検査ノ事務ヲ處理シテ行クニ差支ナイト云フコトハ、検査院ト政府ト能ク協議ヲ遂ゲマシタ上デ實行スル次第デアリマス、故ニ特ニ狀況ノ變化ノナイ限ハ此定員ヲ以テ會計検査院ニ於テハ會計検査事務ヲ差支ナク施行シテ行ケルト云フ提案ニ基イテ政府ガ同意イタシマシテ、今回提出ニ相成ッタ次第デゴザイマス

○伯爵柳原義光君 讀會省略ニ賛成イタシマス

○伯爵大木遠吉君 讀會省略ニ賛成イタシマス

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○男爵石黒忠恵君 賛成

○伯爵松平賴壽君 賛成

○侯爵徳川頼倫君 賛成

○伯爵副島道正君 賛成

○伯爵松本宗隆君 賛成

○平山成信君 賛成

○副議長(侯爵黒田長成君) 小笠原伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長 侯爵黒田長成君) 第五、憲法發布三十年記念祝賀上奏案、會議、委員長報告

憲法發布三十年記念祝賀上奏案  
右別紙ノ通起草セリ依テ及報告候也

大正八年二月八日

右特別委員長

侯爵徳川頼倫

## 貴族院議長公爵德川家達殿

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹啓

敬聖文武天皇陛下ニ奏ス伏シテ惟ルニ

先帝仁聖ノ德ヲ以テ世局ノ進運ニ鑑ミタマヒ我カ臣民ノ康福ヲ増進シ其ノ懿德良能ヲ發達セシメ又其ノ翼賛ニ依リ帝國ノ丕基ヲ永久ニ鞏固ニスルノ旨ヲ以テ帝國憲法ヲ制定シ朝野和氣藹藹ノ中ニ之ヲ發布シタマヘリ謹テ案スルニ我カ

皇祖

皇宗國ヲ肇メ基ヲ建テタマヒシ以降

列聖其ノ緒ヲ續キ國家統治ノ天職ヲ盡サセラレ王道ヲ本トシ覇術ヲ斥ケ君民ノ關係常ニ親密ニシテ義ハ則チ君臣情ハ則チ父子ノ如ク以テ萬國無比ノ國體ヲ成ス其ノ由來スル所誠ニ久遠ナリ憲法ノ條章ハ歐洲諸國ノ成例ニ參酌セラルル所アリト雖其ノ理義ニ於テハ前烈ヲ追ヒ懿訓ヲ弘メ臣民遵由ノ道ヲ示シタマヒシモノナリ古來ノ美風良俗ハ是ニ由リテ益々宣明セラレ大ニ其ノ光華ヲ發スルニ至レリ

陛下

先帝ノ遺範ヲ紹述シタマヒ前後三十年其ノ間屢々國家内外ノ多難ニ遭遇セシモ憲法ノ運用順調ニ進ミ其ノ效果煥然トシテ觀ルヘキモノアリ綱紀益々張リ庶績維レ熙マル臣等益々奮勵努力各其ノ本分ヲ盡シテ以テ隆治ノ萬一ニ裨補セムコトヲ期ス茲ニ恭ク

皇恩ノ優渥ヲ謝シ

寶祚ノ無窮

聖壽ノ萬歲ヲ祈リ奉ル

〔侯爵德川賴倫君演壇ニ登ル〕

○侯爵德川賴倫君 去ル七日ノ本會議ニ於キマシテ御委託ニナリマシタ憲法發布三十年紀念祝賀上奏案ノ委員會ハ、翌八日ニ委員會ヲ開キマシテ、正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ、慎重熟議ヲ重ネマシテ起草ヲ致シマシタ、唯今其之ヲ朗讀イタシマス

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹啓

敬聖文武天皇陛下ニ奏ス伏シテ惟ルニ

先帝仁聖ノ德ヲ以テ世局ノ進運ニ鑑ミタマヒ我カ臣民ノ康福ヲ増進シ其ノ

懿德良能ヲ發達セシメ又其ノ翼賛ニ依リ帝國ノ丕基ヲ永久ニ鞏固ニスルノ

敬旨ヲ以テ帝國憲法ヲ制定シ朝野和氣藹藹ノ中ニ之ヲ發布シタマヘリ

謹テ案スルニ我カ

皇祖

皇宗國ヲ肇メ基ヲ建テタマヒシ以降

列聖其ノ緒ヲ續キ國家統治ノ天職ヲ盡サセラレ王道ヲ本トシ覇術ヲ斥ケ君民ノ關係常ニ親密ニシテ義ハ則チ君臣情ハ則チ父子ノ如ク以テ萬國無比ノ國體ヲ成ス其ノ由來スル所誠ニ久遠ナリ憲法ノ條章ハ歐洲諸國ノ成例ニ參酌セラルル所アリト雖其ノ理義ニ於テハ前烈ヲ追ヒ懿訓ヲ弘メ臣民遵由ノ道ヲ示シタマヒシモノナリ古來ノ美風良俗ハ是ニ由リテ益々宣明セラレ大ニ其ノ光華ヲ發スルニ至レリ

陛下

先帝ノ遺範ヲ紹述シタマヒ前後三十年其ノ間屢々國家内外ノ多難ニ遭遇セシモ憲法ノ運用順調ニ進ミ其ノ效果煥然トシテ觀ルヘキモノアリ綱紀益々張リ庶績維レ熙マル臣等益々奮勵努力各其ノ本分ヲ盡シテ以テ隆治ノ萬一ニ裨補セムコトヲ期ス茲ニ恭ク

皇恩ノ優渥ヲ謝シ

寶祚ノ無窮

聖壽ノ萬歲ヲ祈リ奉ル

前例ニ依リマシテモウ一度朗讀イタシマス

〔再ヒ朗讀〕

斯ノ如キ文デアリマシテ、ドウゾ御異議ガアリマセスケレバ御賛成ノ上直チニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

總員起立

○副議長(侯爵黑田長成君) 全會一致ト認メマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 第六、大正六年法律第六號軍人恩給法附則改正ノ請願、會議、第七、軍人恩給法中改正ノ請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

意見書案

大正六年法律第六號軍人恩給法附則改正ノ件

東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町士族無職業多田保房外五十七名呈出

東京府豐多摩郡澁谷町退役海軍少將澤良渙外二十名呈出

鹿兒島縣鹿兒島市長田町士族無職業退役陸軍步兵大佐桑波田景堯外三十七名呈出(二通)

島根縣松江市石橋平民無職業陸軍步兵一等卒田村只市郎外九十二名呈出

兵庫縣姫路市北條口平民無職業退役陸軍步兵中佐伊東武外二十七名呈出(二通)

愛知縣愛知郡千種町士族退役陸軍一等生計石川兼吉外十九名呈出

千葉縣安房郡北條町士族退役陸軍憲兵少佐山本政元外一名呈出

東京市小石川區林町平民退役海軍軍醫大監池田泰次外十名呈出

兵庫縣神戸市上三條町商森波繁外二名呈出

千葉縣君津郡龜山村平民農陸軍步兵曹長笈川顯外十七名呈出

三重縣多氣郡五ヶ谷村平民農高山傳七外十一名呈出

東京市芝區神谷町平民退役海軍少將中山長明外十三名呈出

岐阜縣土岐郡土岐津町陸軍步兵軍曹佐々木貞太郎外四名呈出

島根縣能義郡廣瀬町士族無職業陸軍少將熊谷宣篤外十七名呈出

東京市神田區三崎町二丁目平民教師退役陸軍騎兵中尉關菊九外四十三名呈出

東京府荏原郡品川町平民海軍軍醫總監戸塚環海外六名呈出

東京市小石川區小日向臺町三丁目士族無職業退役陸軍少將小野安堯外十三名呈出

秋田縣秋田市檜山古川新町豫備役陸軍三等主計正矢野駒太郎外六名呈出

兵庫縣明石郡明石町陸軍少將今橋知勝外二十名呈出(二通)

鹿兒島縣始良郡加治木町士族農木佐木長鏡外二十七名呈出

高知縣土佐郡小高坂村士族退役陸軍步兵中佐川口清俊外二十七名呈出

神奈川縣橫須賀市深田士族後備役海軍少將長井群吉外八名呈出

埼玉縣北足立郡浦和町海軍中佐佐久間秀三郎外五名呈出

山口縣玖珂郡麻里布村陸軍中將佐々木直外十一名呈出

東京市赤坂區板阪町後備役陸軍步兵少尉市川清行外六十五名呈出(二通)

東京市芝區三田小山町平民陸軍三等主計三立宇平外二十四名呈出

東京市麻布區弁町平民退役海軍中將松永雄樹外三十五名呈出(三通)

愛媛縣松山市大字紙屋町平民加藤梁善外三名呈出

宮崎縣西臼杵郡高千穂村農甲斐國愛外十二名呈出

東京市四谷區寺町士族退役陸軍工兵中佐平井直外三十三名呈出

香川縣丸龜市北平山町士族無職業村岡五萬治外二十一名呈出(二通)

宮城縣仙臺市北一番町平民無職業退役陸軍少將小泉策郎外百四十八名呈出

東京府北豐島郡高田村平民伊崎良瀬外二百四十四名呈出(二十七通)

埼玉縣北足立郡大宮町無職業後備役陸軍砲兵少佐後藤欽外十二名呈出(二通)

群馬縣高崎市龍見町平民醫師退役陸軍一等軍醫岩本福四郎外三十三名呈出(二通)

岐阜縣大垣市大字郭町士族無職業退役陸軍少將可兒春琳外十名呈出

神奈川縣足柄下郡小田原町後備役陸軍輜重兵中佐川添寛隆外四名呈出

東京府豐多摩郡澁谷町退役陸軍軍醫監落合泰藏外十六名呈出

靜岡縣靜岡市東草深町二丁目平民無職業退役陸軍步兵中尉堀西寶岸外九名呈出

石川縣金澤市玄蕃町一番丁士族無職業退役陸軍步兵大佐鈴木常武外八十二名呈出

福岡縣京都郡豐津村退役陸軍步兵少佐高橋種生外四名呈出

東京府豐多摩郡落合村陸軍一等軍醫正長尾收一外二名呈出

鹿兒島縣薩摩郡鶴田村農朝隈平治外一名呈出

東京府豐多摩郡戸塚町士族退役陸軍步兵中佐水野勝太郎外四名呈出

東京府豐多摩郡中野町後備役陸軍工兵中佐櫻井明規外一名呈出

岡山縣苫田郡津山町平民無職業陸軍步兵少佐中山默識外四十一名呈出(二通)

宮崎縣東臼杵郡伊形村平民無職業藤田惇外十一名呈出

鹿兒島縣肝屬郡新城村士族退役陸軍憲兵大尉打越省三外十九名呈出

長崎縣佐世保市清水町平民退役海軍中尉福本虎之助外六十三名呈出(二通)

大阪市東區和泉町二丁目退役陸軍憲兵少佐菊地傳三外二名呈出

右ノ請願ハ大正六年法律第六號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正シテ恩給ヲ受クルノ事由カ明治四十四年三月以前ニ生シタルト同年四月以後ニ生シタルトニ依リ支給額ヲ異ニスルノ不公平ヲ除去セラレタルモ尙扶助料ハ大正九年分ヨリ退職恩給又ハ免除恩給ハ同一年分ヨリ初メテ増加セラレタル全額ヲ給セラレハ物價暴騰セル今日ニ於テ受領權利者ノ甚苦痛トスル所ナルヲ以テ大正八年一月ヨリ十二月迄ノ分ヨリ増加セラレタル全額ヲ支給セラレハヤウ同法附則第五項及第六項ヲ改正セラレタル旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

軍人恩給法中改正ノ件

秋田縣秋田市保戸野中町平民無職業後備役陸軍少將高草木重列外三名呈出

大阪府豐能郡池田町無職業後備役陸軍三等主計正山路多喜治外四名呈出  
愛媛縣伊豫郡郡中町陸軍輜重兵大佐喜多山淡二郎外五名呈出

宮城縣仙臺市新小路平民無職業後備役陸軍歩兵少佐鎌田之外三十名呈出  
右ノ請願ハ軍人恩給法ハ數度ノ改正ヲ經テ殆ト公平ヲ得タルモ尙明治二十三年勅令第二十四號ニ依リ特ニ官等ヲ進メラレタル者ニシテ其ノ官等ニ相當スル恩給ヲ得サルハ文官退職ノ場合若ハ近來陸海軍人ノ現役ヲ去ル場合ニ於テ優遇ノ方法ヲ採ラルルニ比シ權衡ヲ失スルヲ以テ彼此厚薄ノ差ナキヤウ同法ヲ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

○副議長(侯爵黒田長成君) 是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通リデ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナシト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 第八、日本住血吸蟲病豫防撲滅事業費國庫補助ノ請願、會議

意見書案

日本住血吸蟲病豫防撲滅事業費國庫補助ノ件

廣島縣深安郡川南村外八箇村地方病豫防撲滅組合管理者深安郡長熊谷綱介呈出

右ノ請願ハ廣島縣深安郡ヲ中心トシテ漸次猖獗ヲ極メムトスル日本住血吸蟲病ハ當該地方ニ於ケル危害ナルノミナラス又實ニ國民衛生上ノ一大憂患ナルヲ以テ之ヲ豫防撲滅セムカ爲關係諸村ニ於テ公共組合ヲ組織シタルモ地方ノ資力薄弱ニシテ其ノ目的ヲ達スル能ハサルハ甚遺憾ナルニ依リ特ニ國庫ヨリ同組合ニ對シ相當ノ補助ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

○三宅秀君 本員ハ之ニ付テ少シク質問ト希望トヲ述ベタイト思ヒマスガ…  
○副議長(侯爵黒田長成君) 三宅君ノ登壇ヲ望ミマス

○三宅秀君 左程ノ長イモノデアリマセヌ  
○副議長(侯爵黒田長成君) ドウゾコチラヘ御出ヲ願ヒマス

「三宅秀君演壇ニ登ル」

○三宅秀君 私ハ此請願ヲ採擇サレマスコトニハ同意ノ者デアリマス、併ナガラ之ニ付テ少シ質問ヲ致シタイコトガゴザリマスルガ、委員長其他ノ委員諸君ニ御尋イタシマシテハ、事ガ幾分力専門的ノコトニナリマスルカラ、定メテ御迷惑ヂヤラウト御察シ致シマスノデ當局ニ向ッテ質問ヲ致シ、且ツ希望ヲ述ベタイト存ジマス、極メテ簡易ナ質問デアリマスカラ、登壇イタシマスル程ノコトモナイト存ジマシタノデアリマスル、當局ガ出テ居ラレマセヌカ  
○副議長(侯爵黒田長成君) 出テ居ラレマス  
○三宅秀君 此案ノ請願ガ御採擇ニナリマスルマデノ經過ヲ承知イタシマス

ル爲ニ、速記録ハ一通リ調べテ参リマシテゴザイマス、速記録ハ一通リ調べテ参リマシタガ、此請願ノ意味ノコトハ政府ニ於テモ、未ダ補助ヲスル手順ニナツテ居ルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、定ツタ意見ガ無イヤウデゴザイマス、政府ノ方デ申サレマスルニハ差當リ十二指腸蟲蠅ト、此二ツニ付國費ヲ以テ驅除ノ方法ヲ計畫シテ居リ、豫算マデモ請求シテ居ルガ、此日本住血吸蟲ト云フ病ニ向ッテハ、此蟲ヲ驅除スル方法ニ向ッテハ、別段ノ設備ガシテナイ、故ニ此蟲モ豫防撲滅ヲ忽ニスベキモノデナイカラ、今日豫算ノ要求シテアリマスルモノヲ割イテ、此方ニ幾分カ補助スルヤウニナルト云フヤウナ當局ノ御答ガゴザイマシタ、是ハ請願者ハ自分ノ居リマスル所ノ地方的ノ考デ、廣島縣ノ中八箇村カ九箇村デアリマスルカノ地方人民カラ國庫補助ヲ仰イデ参ッタノデアリマスルケレドモ、政府委員ノ説明サレマシタ如ク、獨リ廣島縣バカリデハゴザイマセス、近クハ山梨縣ニモ可ナリ蔓ッテ居リマス、其他ノ縣々ニ於テモ、此病ガ何時ノ間ニヤラ廣ク害ガ擴ガリツ、アルノデアリマス、故ニ本員ノ希望イタシマスル所ハ、尙ホ確メテ置イテ希望イタシタイノハ十二指腸蟲ト蠅トノ驅除方バカリデナク、他ノ諸縣ニモ此恐レベキ病ガアリマスルカラ、豫メ豫算ニ計算シテアリマスル費用ヲ以テソレニ配當スルヤウナコトニ爲サレタイト云フ考、若シソレデ費用ガ少ケレバ追加豫算ヲ出シテマデモ、此事ハ今少シ廣ク行ハレルヤウニ致シタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス、ソレ故ニ當局ニ何處マデ御決心ガアルカト云フコトヲ突止メテ置キタイノデテリマス、ソレカラ此問題トハ少シク離レテ居リマスルケレドモ、政府委員ガ請願委員會ニ於テ言明セラレテ居リマスルガ如ク、十二指腸蟲ト蠅トノ驅除ニ付テハ當年カラ豫防費ヲ豫算ニ要求シテアル、確カ八万圓カノ金高カト存ジマシタガ、此十二指腸蟲ト蠅トノ二ツハ日本全國……殆ド日本全國ヘ擴ッテ居リマシテ、調査ヲスレバスルダケ澤山誰モ彼モ此蟲ノ病氣ニ罹ッテ居ルノデアリマス、一向是マデハ大人ニハ格別ノ害ガナイヤウニ思ッテ居リマシタモノガ、大人ト小人トヲ問ハズ、大ニ十二指腸蟲ト蠅トノ爲ニモ苦シメラレテ居リマスカラ、サウ云フ恐レベキ病氣ガ日本全國ヘ擴ッテ居リマスルノニ、地方費ヲ補助スル高ガ僅カ八万圓デハ誠ニ少イノデナカラウカ、且ツ此住血吸蟲病ノ驅除ニマデ割イテ其費用ヲ分配シヤウト云フコトニナリマスルト云フト、如何ニモ國庫ノ補助デアリマスルカラ、地方費デ拂ッタモノノ内ヲ國庫ガ補助スルノデアリマスルカラ、少額デモ宜イト云ハレルカモ知

レマセスケレドモ、我々ノ考カラ致シマスレバ、ソレ程大切ナモノナラバ豫算ノ追加ヲ要求シテマデモ行ク位ナ計畫ガアツテ然ルベシト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレカラ十二指腸蟲病ト云フモノハ、一タビ人間ノ身體ニ這入リマスル住血吸蟲病ト云フモノハ更ニ困難ナモノデ、血ノ中ニ住ンデ居リマスカラ、其血ノ中ニ生活シテ居ル所ノ蟲ヲ驅除スルコトハ、餘程困難ナモノデアリマスルカラ、費用カラ申シマシテモ恐ラク聊カナコトデハ驅除豫防ガ出來兼ネルコトデアラウト思フノデアリマス、一番昔カラ知レテ居リマスル病デ、普通中シマスル蠅ト云フモノハ、昔カラ子供ノ病氣ノヤウニ思ッテ居リマシタガ、是ガ子供ニ在ルバカリデハゴザイマセズニ、大人ニモ澤山ゴザイマスル、段々調査ヲ致シマスルト云フト、全國ニ蔓ッテ居リマシテ、サウシテ小學ノ兒童ハ申スニ及バズ、大人デモ各家庭ニ就イテ調べテ見マスルト、ナカ／＼盛ンニ此蟲ガ蔓ッテ居リマス、此蟲ハ幸ニシテ驅除ノ方法ハ至ッテ簡單デゴザイマスル、驅除ノ方法ハ簡單デアリマスルケレドモ、此蟲ノ害ニ氣ガ付イテ早クカラ調査ヲ爲シ、ソレカラ驅除スレバ驅除シタダケノ效驗ガアツタト云フコトヲ醫者ナラバ兎モ角モ、醫者デナク只一ノ自分ノ篤志ナル所カラシテ、驅除ノ方法ニ熱心ニ盡シタ人ヲ私ハ承知イタシテ居リマスルガ、其人ハ外デモゴザイマセスガ、静岡縣ノ小笠郡横地村ト云フ村ノ村長伊藤準作ト云フ人デアリマス、其人ガ早クカラ氣ガ付イテ、サウシテ或ハ自費ヲ投ジ又ハ村費ヲ以テ經濟的ニ此驅除法ヲ數年實行イタシマシタ、其結果トシテ小學校ノ兒童ハ成績ガ良クナツタ、壯年ノ働キ盛リノ人ハ、各、其家業ヲ勉メテ、病氣ガ少クナツテ、土地ノ農工業モ大ニ進ムヤウニ認メルト云フコトヲ前年統計ヲ取ッテ報告ナドヲサレタ、私共ハ古クカラ之ヲ感心イタシテ居ル次第デアリマス、如何ニモ篤志ナルコトデ、ソレ程ノ調査ヲシ、ソレ程ノ成績ヲ舉ゲタト云フコトヲ、何處カノ席デ揚言イタシタト考ヘテ居ッタノデアリマスルガ、政府當局ニ於キマシテハ豫算ニマデ蠅トノ驅除費ヲ要求サレル位デアリマスカラ、定メシ斯ウ云フヤウナ篤志ノ人ハ御承知デアルコトデアリマセウ、デ斯ウ云フ人間ニ向ッテハ厚ク國庫カラモ補助モゴザイマセウシ、或ハ又表彰シテ……其篤志ナル所ノ行ニ付テ表彰サレルト云フヤウナ御考ガアリマスルカ、單リ此驅除ヲ努ムルバカリデナク、驅除ニ努メタ人ニ向ッテモ表彰スルヤウナ御意見ガアリマスルヤ否ヤト云フコトヲ政府ノ當局ニ伺ヒタイノデアリ



マス、私ハ此本案ニ付キマシテハ固ヨリ大賛成デ通過ヲ望ム次第デアリマス  
〔政府委員杉山四五郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(杉山四五郎君) 唯今三宅君ヨリ問題ニナツテ居リマスル日本住血吸蟲ノ國庫補助ノ請願ニ關シマシテ三點ニ互フテ御質問ガアリ、又當局ニ取リマシテハ頗ル心ヲ強ク致シマスル意味ニ於ケル御希望ヲ拜承イタシマシタ、先ツ劈頭ニ於キマシテ、日本住血吸蟲、殊ニ恐ルベキ十二指腸蟲及蛔蟲ノ驅除ノ問題ガ、此神聖ナル議場ニ論議セラル、ニ至リマシタルコトヲ、我々日本民族ノ所謂民族衛生ノ上カラ殊ニ有難ク又喜バシキコトト存ジマシテ、衛生ノ局ニアリマスル不肖ノ私ニ於キマシテモ衷心ヨリ感激ニ堪ヘナイコトヲ茲ニ表明イタシマス、段々専門ノ御方デ御在リニナリマスル三宅君ヨリ、此三ツノ病原體ニ付キマシテノ詳シキ御話ガアリマシタカラ、當局デハアリマスルガ元來素人ノ私ハ之ニ對シマシテ餘計ナコトヲ申添ヘマセヌ、唯如何ニモ此日本住血吸蟲ハ請願者ノ屬シテ居ラレル廣島縣ノミナラズ、佐賀縣、岡山縣、靜岡縣、茨城縣及此蠶穀ノ下デアリマスル東京府ノ如キモ、段々日本住血吸蟲ガ驚クベキ勢ヲ以テ増シツ、アル、固ヨリ當局ニ於キマシテモ此問題ヲ等閑ニ付シテ居ルノデハアリマセヌ、唯如何ニシテモ三宅君ノ御述ベノ通り十二指腸蟲、蛔蟲、是ガ殆ド非常ナル勢ヲ以テ我々同胞ヲ冒シツ、アルノデアリマス、段々御協賛ニ依リマシテ保健衛生調査會ノ調査モ進行イタシ、既ニ大正七年度ニ於テハ實地調査班ナルモノヲ組織イタシマシテ、靜岡縣ノ駿東郡、此一村ニダケ行ツテ調べ見マシタノデアリマスガ、實ニ驚クベシ、其一村ガ九十「パーセント」ノ所謂十二指腸蟲及蛔蟲ヲ通ジマスルト云フト卵ヲ尾籠ナ話デゴザイマスガ已ムヲ得マセヌカラ申上ゲマスガ、糞便ノ中ニ有ツテ居リマス、百分ノ中九十、是ガ皆恐ルベキ所ノ十二指腸蟲ノ卵、蛔蟲ノ卵ヲ有ツテ居リマス、此卵ヲ有ツテ居リマス以上實ニマダ糞便ヲ通ジテ段々ト擴ガツテ來ル狀態、三宅君ノ仰セノ通り我々同胞ガ若シ斯ウ云フ勢ヲ以テ九十「パーセント」ノ比例デ十二指腸蟲、蛔蟲ト云フモノニ冒サレルコトニナリマシタナラバ、其爲ニ活動力ヲ如何ニ阻碍シ又遂ニ同胞ノ生命ニ關スルカト云フ重大ナル案件デアリマス、故ニ當局ハ之ニ鑑ミマシテ一面保健衛生調査會ノ總會ヨリ主務大臣ニ對スル建議ノ次第モアリマシタノデ、實ハ一定ノ費額ヲ當局ニ要求イタシマシタガ、財政當局ハ又色々他ノ方面ノ料理安排等ノ關係モアリマシテ、御協賛ヲ願ハムトスル所ノ豫算ノ中ニハ僅々二萬圓ノ國

庫補助額ヲ計上イタシタノデアリマス、デアリマスカラ此請願ノ三萬餘圓ノ廣島縣ノ方面ヘ日本住血吸蟲ノ國庫補助ヲスルト云フコトハ、全部持ツテ行ツテモ此要求ニ應ゼラレマセヌカラ、請願ノ分科會ニ於キマシテハ、當局トシマシテ誠ニ趣旨ニ於テハ同感デアアル、併ナガラ全部デ二萬圓ト云フ僅ノモノシカナイカラ其一部分……大體ハ一府縣ニ平均二千五百圓ト云フヤウナ極ク輕微ナル補助額ヲ計上シテ居リマスルガ、比較的緩急ヲ計ツテ他ノ縣ノ十二指腸蟲、蛔蟲ニ持ツテ行ク、其代リニ廣島縣ノ此請願者ニ對シ此豫算ノ許ス範圍内ニ於テ補助シマセウト云フヤウナコトヲ言明シタ次第デアリマス、サウシテ三宅君ノ御質問ハ第一第二ヲ通ジマシテ所謂此日本住血吸蟲、十二指腸蟲、蛔蟲、此三ツニ對シ根本的ノ補助ヲスルト云フ趣旨ノ下ニ追加豫算ヲ出シテハドウカト云フコトノ御質問デアリマス、固ヨリ當局ハ前段申上ゲマスル考ヲ有ツテ居リマスルノデアリマスルカラ、貴族院ニ於ケレマシテ此意味ガ明デアリマスル以上ハ、固ヨリ政府當局ニ於テ大ニ鑑ミル所ガナケレバナラヌト存ジマスルガ、先ツ此際ハ是位ノ所ヲ以テ御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ靜岡縣ノ小笠原郡横地村長ノ伊藤準作君ガ、多年此問題ニ資力ヲ傾注セラレテ居ルト云フコトヲ此議場デ三宅君ガ御話シ下サイマシタコトハ、實ニ同村長ノ爲ニ光榮之ニ過グルモノナイト存ジマス、私共ハ此點ニ於テ深ク三宅君ガ此機會ヲ利用サレマシテ伊藤準作君ヲ特ニ此議場ニ於テ既ニ旌表サレタコトヲ感謝スルモノデアリマス、當局ニ於キマシテモ常ニ此紀元ノ佳節ヲトシマシテ衛生功勞者、衛生ニ功勞アル所ノ團體、サウ云フモノニ或ハ褒狀ヲ交付シ、或ハ選奨の意味ノ金員ヲ交付スルト云フヤウナコトハ、是マデトモ致シテ居リマス、深ク三宅君ノ此點ニ關シテハ御質問ト同時ニ御希望ノ深キ意味ノアラル、コトヲ衷心ヨリ感謝スルノデアリマス、概要右ニテ御諒承ヲ願ヒマス

○男爵石黒忠恵君 チョット當局者ニ御尋ネ致シタウゴザイマスガ、唯今三宅君カラ御述ニナリマシテ當局ノ御答モ伺ヒマシタガ、此日本住血吸蟲デゴザイマスガ、幸ニ此不明ノモノガ、京都大學ノ藤浪醫學博士ノ容易ナラザル熱心デ住血吸蟲ガ見出サレ、又宮入醫學博士モ深ク考ヲ致サレマシテ爰マデニ至ツタノデアリマスガ、當局者ノ先刻ノ御話ニ依リマスル蛔蟲竝ニ十二指腸蟲驅除ノ爲ニ豫算ヲ本年度ニ計上セラレマシタノガ、若シモ通りマシテモ通リマセヌデモ此日本住血吸蟲ノ方ニ多少ノ補助ヲセラレマス積リデアリマスカ



其事ヲ伺ヒタイ、當年他ノ二蟲ノ驅除ニ費用ヲ計上セラレマシタモノガ通ル通ラヌニ拘ラズ、是ニモ補助セラル、ト云フ考デアリマスカ

〔政府委員杉山四五郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(杉山四五郎君) 石黒男爵ニ御答イタシマスガ、先程三宅君ノ御質問ニ御答ヘ申シタル通りデアリマシテ、詰リ此豫算ガ二万圓ダケ寄生蟲ノ驅除トシテ計上シテゴザイマスルガ、内容ヲ申上ゲマスレバ、當局ノ意思ハ先ヅ主トシテ十二指腸蟲、蛔蟲ノ驅除ニ向ッテ地方費ノ支出ヲ補助スルト云フノデアリマスガ、併ナガラ緩急ヲ斟酌イタシマシテ、幸ニ廣島ノ方ニ於キマシテ、ソレ程十二指腸蟲、蛔蟲ノ方ガ猛烈ダナケレバ、此請願ニ出テ居リマスル日本住血吸蟲ノ方ニ其豫算ガ通過イタシマシテ、實施ノ際ニ於テ之ヲ運用スルト云フ趣旨ニ過ギマセヌノデゴザイマス、尙ホ唯今御質問ノ際ニ御申聞デゴザイマシタガ、宮入博士ガ福岡醫科大學教授トシテ、教壇ニ於テ此學ノ爲ニ専心攻究サレツ、アル傍ラ、石黒男爵、三宅君、高木君等、此方面ノ斯道ノ大家ト共ニ此衛生調査會委員ト云フ方面ヲ擔當セラレマシテ、殊ニ此蛔蟲ニ付テ深く攻究ヲ進メテ居ラル、ト云フコト、而モ其蛔蟲ト云フモノハ、先程三宅君ノ御説明ノ通り一旦胃ニ這入リマシテ腹壁ヲ喰ヒ破ッテ肺臟ニ行ッテ肺ヲ侵シテ喉頭ヲ通ッテ再ビ腸ニ下ガルト云フヤウナ徑路、而シテ此日本ノ此幼兒ノ死亡率ノ殖エテ來テ居ルコト、是ナドハ多ク此病氣ノ關係デハアルマイカト云フコトヲ段々研究サレマシタ次第デ、而シテ之ニ對スル所ノ驅蟲藥ノ「サントニーネ」ト申シマスモノ、是ハドウモ多少副作用ヲ起シマスケレドモ、日本ニハ海仁草ト云フ一ノ濱藻ガアル、之ヲ以テ拵ヘマスレバ其副作用ハナクツテ、尙ホヨリ以上有效デアラウト云フヤウナ驅除藥ノ研究ニ身ヲ委ネラレマシテ、既ニ昨年夏八月、九月ニ互リマシテ鹿児島ノ一海濱ヲ巡廻サレマシテ、此海仁草ノ調査ニ著手シテ居ルト云フコトデアリマス、丁度石黒男爵ニ依リマシテ、宮入博士ノ爲メ此方面ニ熱心シテ居ラル、コト及我々同胞ノ爲ニ此恐ルベキ蛔蟲驅除ニ向ッテ斯ル奮闘ヲシテ居ラル、ト云フ風ナコトヲ、此ニ御披露下サイマシタコトハ、私ハ素ヨリ局ニ當ル所ノ者ト致シマシテ衷心ヨリ感謝スル所ノモノデアリマス、是非豫算ノ通過ヲ得マシタ上ニ、豫算實行ノ際ニ於キマシテ之ヲ適當ニ運用イタシマシテ、此請願ノ或ル部分マデノ通ルヤウニシタイト云フ私ノ考デゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 此請願ハ委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイモノト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、先刻御議決ニナリマシタ、第五ノ上奏文ヲ捧呈イタシマス手續ハ議長ニ御委任セラレタイト存ジマス、ソレデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイモノト認メマス、次ノ議事日程ハ後ヨリ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午前十時五十六分散會

